

アジア政経学会 2015年度第6回理事会 議事録

1. 日時：2015年12月19日（土） 15:00～16:30
2. 会場：東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟5階549室
3. 理事総数：24（定足数13） 監事総数：2（定足数1）
4. 参加者：

出席者（理事14名、監事1名）：丸川、青山、阿古、磯崎、梶谷、加茂、川島、倉田、
巖、澤田、清水、高橋、竹中、中岡（以上理事）、大橋監事

欠席者（理事10名、監事1名）：大西、川中、佐藤、園田、田村、永井、中溝、三重野、
松田、渡邊（以上理事）、山本監事

5. 議長：丸川理事長

6. 議事

15時00分に丸川理事長が議長席に着き、開会を宣言、倉田理事から、本日の理事欠席者が10名、監事欠席者が1名にて、定足数を満たしているので、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。その後、議案の審議に入った。

審議事項

1. ニュースレターの進捗状況報告および、巻頭言執筆者について

澤田理事より、配付資料1に基づき、次号ニュースレターは2016年3月に発行を予定している旨の報告があった。巻頭言は川島会員が執筆することが提案され、川島理事がこれを承諾した。

また、会員からニュースレターへの投稿を希望するとする文書が送付されたが、本ニュースレターは会員間の告知・交流のために出されているものであるという趣旨から、適切でないと判断して掲載を断ったことが報告された。

2. 国際シンポジウムについて

加茂理事・丸川理事長より、配付資料2に基づいて、2016年6月開催予定の国際シンポジウムにおいて、ポーランドとイタリアの研究者を招聘することを企画している旨報告がなされた。また、時間帯は6月19日午前9時半または10時～2.5から3時間、その後食事会と、理事会・評議員会を開催するとの報告があった。会場については幕張国際研究センターなどの場所を検討している旨報告があった。

また、このシンポジウム開催費用について、樫山セミナーとしての資金援助の申請書を準備している旨報告がなされた。

3. 入会者・再入会者・復会者・休会者・会費優待者の承認

阿古理事より、配付資料に基づき、入会希望者7名、休会希望者4名、会費優待申請6名

が報告され、いずれも承認された。また、退会者 10 名が報告された。

4. 会費未納と住所不明による退会検討について

阿古理事より、配付資料 4 に基づいて、会費の 4 年間未納者が 24 名おり、その退会の可否について審議がなされた。澤田理事・加茂理事・川島理事より、そのうち一部の者について連絡が可能かもしれない旨申し出があった。

磯崎理事より、現代韓国朝鮮学会では、学会報告の際に報告者の会費納入の有無を調べ、報告する人には必ず払わせるが、アジア政経学会のような大きな学会では同様の方法をとることは難しいかも知れないとの意見が表明された。

阿古理事より、次回理事会までに納入を確認し、再度報告したい旨申し出があり、承認された。

5. その他

丸川理事長より、次回の 2016 年 6 月 18 日の春季大会での会員総会の実施について、従来会員向け活動報告の内容が中心であったが、定款の規定上会員総会でこれを行う必要はないため、総会の位置づけを学会がこれから何をしようとしているか(大会、樫山セミナー、投稿呼びかけなど)についての動員・宣伝の場とし、春季大会の懇親会前にその場で開催すること、また、年一回ではなく、大会ごとに懇親会の始まる前、20・30 分程度の会合を持つという方式への転換が提案された。

川島理事・澤田理事より、大幅な変更を伴う提案であるため、慎重な審議が必要であるとの意見が表明され、審議の結果 3 月 26 日の理事会において継続審議とすることが決定された。

報告事項

1. 『アジア研究』編集状況

徹理事から配付資料 5 に基づき、中溝理事に代わり報告がなされた。第 61 巻第 4 号がすでに刊行され、書評の未掲載分はすでになく。論文の応募も少しずつ入っており順調であること、特集については今後の大会のシンポジウムなどでやったものについて取り上げたいとの報告がなされた。

2. 国際研究企画

欠席の永井理事から配付資料 6 に基づき書面での報告がなされ、丸川理事長がこれを代読した。AECF 会議への学会員参加について、参加希望者がわずか 1 名と少なく、次回以降はアジア政経学会としての参加は見送ることを検討している旨報告がなされた。

3. 2015 年度秋季大会の開催報告

中岡理事より配付資料 7 に基づき、常盤大学で開催された 2015 年度秋季大会には 80 名の参加があり、無事終了した旨報告がなされた。40 万円の開催校補助のうち、精算の後残額については学会に返還する旨報告がなされた。

丸川理事長より、今後全国大会はなくなって、春季大会と秋季大会になるので、開催校補助の金額を見直すべき旨提案された。

4. その他

丸川理事長より、理事間の意見交換のため Slack を使用したい旨提案され、承認された。

丸川理事長より、2017 年春季大会以降の大会開催校が未定であり、アイデアを提供してほしい旨依頼がなされた。

丸川議長が 16 時 30 分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上。